

令和 2 年度(2020 年度)

小学校生活科用

「あたらしい せいかつ」

臨時休業明けの

年間指導計画参考資料

【1年(上巻)】

令和 2 年 (2020 年) 6 月 10 日版

本資料の作成にあたって

※本資料では、第 1 学年の総時数 102 時間のうち、13 時間を「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」として提示しています。各単元の配当時数における「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」を 2 行目に記述しています。

※生活科の学習活動は、低学年児童の発達の段階に合わせた配慮が求められ、できるだけ学校で行うことが望ましいと考えます。「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」については、本資料を参考として、学校、学級等の実情や地域等の支援体制を鑑みてご検討、ご判断ください。

※「感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動」については、→を付けて示しています。

※第 1 学年の入学当初には、生活科を中心に「スタートカリキュラム」を編成し、幼児期の教育と小学校教育を円滑に接続することが求められています。幼児期の育ちや学びを生かし、児童が主体的に自己を発揮しながら、各教科等における自覚的な学びに向かうためには、ゆったりとした時間の中で学習活動を進めることや、弾力的な時間割の設定が必要になります。そのため、第 1 学年では「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」は主に学年の後半に配置しています。

東京書籍

単元名	がっこう だいすき			教科書のページ	上 p.1~26
配当時数	20 時間 (1 時間)	活動時期	4~5 月	学習指導要領の内容	(1)
単元の目標	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことが分かるとともに、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりすることができるようになる。				
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気付いている。	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と、自分との関わりを見付けている。	学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとしている。		
目標	時数	学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動		
がっこうの ことが しりたいな	8 +国語4 2/3 (書写2/3) +算数2 +音楽1 1/3 +図工1 2/3 +体育4 1/3 +道徳1 +学活5	1 日目：学校生活の過ごし方や教室の使い方を考える。 2 日目：名刺をつくり自己紹介をする。 3 日目：校庭に出かけ、みんなで遊ぶ。 4 日目：学校の中をみんなで歩いてめぐる。 5 日目：学校の中を歩いたり、学校生活について話し合ったり、人数集めゲームをしたりする。 6 日目：校庭で遊んだり、探検したりして、見付けた物や遊んだことを絵に描く。 7 日目：校庭を探検したり、生き物を探したりする。 8 日目：校庭で遊び、友達と関わる。			
みんなと なかよく なりたいな					
・友達や学校生活を支える人と関わり、友達の存在やよさに気付き、安心して遊びや学習をしていこうとすることができるようになる。					
p.8~9					
ともだちと がっこうを たんけんしよう					
・友達の行った施設の情報と自分の思いを照らし合わせて、探検に行きたい場所を選んで探検に行き、学校の施設の特徴に気付くことができるようになる。	3 +国語1	①みんなで行った場所を思い出し、班ごとに探検に行く。 ②見付けた物、こと、会った人にについて伝え合い、もう一度、班ごとに学校探検に行く。 ③前回の探検について話し合い、班ごとに別の場所へ学校探検に行く。 ④見付けた物やこと、会った人にについて伝え合い、不思議に思つ			
p.16~17					

		たことやもっと知りたいことを話し合う。	
がっこうに いる ひとと なかよくなろう			
・学校のことを知りたいという思いをもち、自分との関わりを思い描きながら、学校にいる人に話したり質問したりして、学校にいる人々の働きや役割に気付き、何度も学校生活を支える人々と関わろうとすることができるようにする。 p.18～19	4 +国語1	<p>①教科書を見て、どんな人にどんなことを聞きたいか、みんなで話し合い、練習をして聞きに出かける。</p> <p>②分かったことや気付いたことをみんなで伝え合う。</p> <p>③もう一度、聞きに出かける計画を話し合い、知りたいことを聞きに出かける。</p> <p>④探検を振り返り、教頭先生（副校长先生）はどんな仕事をしているのか話し合い、教室に招待する計画を立てる。</p> <p>⑤教頭先生（副校长先生）を招待して、学校の安全について話を聞く。</p>	
がっこうで みつけた ことを つたえよう			
・学校探検で見付けたことを友達と伝え合い、自分の学校での生活はさまざまな人や施設の働きに支えられていることに気付き、安心感をもって、学校で遊びや生活をしていこうとすることができるようにする。 p.20～21	3 +国語1	<p>①学校探検で見付けた人・物・ことの中から一番伝えたいことを決める。</p> <p>②伝えたいことを絵や文で表したり実物や動画を用意したりして、伝える準備をする。</p> <p>③自分の決めた方法で発表し、発表した絵や言葉、写真等を学校の絵地図に付け足す。</p> <p>④友達の話を聞いて分かったことや気付いたことを話し合う。</p>	
みんなで つうがくろを あるこう			
・みんなで通学路を歩き、自分の登下校時の様子を思い起こしながら、安全を守る人々の願いについて話し、実際の登下校時に、安全に気を付けて行動しようとすることができるようする。 p.22～23	2	<p>①通学路にある、安全を守るために物や人について話し合い、みんなで学校の周りを歩く計画を立てる。</p> <p>②学校周辺の通学路の 1 コースをみんなで歩き、気付いたことを話し合う。</p>	<p>①教科書 p. 22-23, 24-25 を参考に、家の人と一緒に自分の通学路を歩き、気を付ける箇所を確認する。【1 時間】</p>

単元名	きれいに さいてね			教科書のページ	上 p.27~39
配当時数	8 時間	活動時期	5~9 月	学習指導要領の内容	(7)

単元の目標	植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち、大切にしようとすることができるようとする。				
-------	--	--	--	--	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
たねを まこう			
・ 幼児期や日常での経験に思いを巡らせて、育てる植物を決めたりたねをまいたりして、たねの色や形、大きさなどの特徴に気付くとともに、植物に心を寄せ、大切に育てていこうとすることができるようとする。 p.28~29	2	<p>① 幼児期の栽培経験を教え合い、教科書を見て植物の花やたねなどを確認し、育てたい植物を決め、たねをまくために必要なことについて話し合う。</p> <p>② たねをまき、記録カードに記録する。</p>	

せわを しよう	1	<p>常時活動 朝の時間や休み時間などをを使って、成長の様子を観察したり、鉢の置き場所や水やりの仕方などを相談したりして世話を続ける。</p> <p>① 植物の世話をしていて気付いたことを紹介し合い、大きく育てるために必要なことについて話し合う。</p>	
---------	---	---	--

はなの ようすを つたえよう	2	<p>常時活動 朝の時間や休み時間などをを使って、植物の世話を続けながら、成長の様子を観察する。</p> <p>① 開花の様子を伝え合い、伝え合ったことを基に記録カードにかく。</p> <p>② 開花した花を残す方法を考え、押し花やたたき染めなどをする。</p>	
----------------	---	---	--

たねを とろう	3	常時活動 休み時間などを使って	
---------	---	-----------------	--

<p>活動をまとめたりする中で、一つのたねからたくさんのたねを増やし、生命をつないでいることに気付くとともに、世話を続けられた自分の成長を実感し、これからも植物を育てていくことができるようになる。</p> <p style="text-align: right;">p.36～37</p>	<p>植物を観察し、たねを集める。</p> <p>①集めたたねを観察したり数えたりして、分かったことを紹介し合う。</p> <p>②これまでにかいた記録カードを活用して、まとめの作品をつくり、友達と見せ合ってこれまでの栽培活動を振り返る。</p> <p>③とったたねをどうするか話し合い、一人一人の思いに合わせて保存したり作品をつくったりする。</p>		
あきにも そだてよう			
<ul style="list-style-type: none"> 春から植物を育てられた自分の成長を実感して、秋からも植物を育てたいという思いをもち、春から育てた植物との共通点や相違点を探しながら、秋から育てる植物を選んで、育てていこうとすることができるようになる。 <p style="text-align: right;">p.38</p>	外	<ul style="list-style-type: none"> 育てたい植物を選び、たねをまいたり、苗や球根を植えたりする。 開花を楽しみにし、成長の様子を観察しながら、親しみをもつて世話を続ける。 	

単元名	なつが やって きた			教科書のページ	上 p.40~56		
配当時数	8 時間	活動時期	6~7 月	学習指導要領の内容	(4) (5) (6)		
単元の目標	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとすることができるようとする。						
単元の評価規準	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付いている。		夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしている。			
目標	時数	学習活動		学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動			
こうていで くさばなや むしを さがそう							
・動植物や風、光の特徴など、校庭の自然の様子を観察し、諸感覚を使って夏の動植物や自然と関わり、その特徴に気付くことができるようする。 p.42~43	2	<p>①校庭で、夏の草花や樹木、虫などの動植物を探したり、それらの様子を観察したりする。</p> <p>②草花や樹木を利用して遊びを工夫したり、遊びに使う物を工夫してつくったりして、気付いたことを記録カードにかく。</p>					
みんなの こうえんで あそぼう							
・公園の遊具や自然物を使ってみんなで遊び、公園は、いろいろな人が使う場所であることや、利用方法やきまりが存在していることなどに気付くとともに、熱中症対策や手洗いなど、病気の予防に努めることができるようする。 p.44~45	3	<p>①～②ルールやマナーを守りながら、学校と公園を往復したり、遊具や自然物を使ってみんなで遊んだりする。</p> <p>③教室に戻ってきて、公園での活動で楽しかったことや気付いたことについて話し合う。</p>					
みずで あそぼう							
・夏の自然と関わりたいという思いをもち、これまでの経験から遊び方を想像しながら、身近な自然や物を使っていろいろな遊びを楽しみ、遊びを創り出すことの面白さに気付くとともに、夏の自然を楽しむができるようする。 p.46~47	2	<p>①これまでの水遊びの経験を教え合い、水を使った夏の遊びについて話し合ってから、友達と一緒に水を使った遊びを楽しむ。</p> <p>②水を使った遊びや、遊びに使う物を工夫してつくり、みんなで遊ぶ。</p>					
あめあがりの こうていを たんけんしよう							
・雨上がりの校庭に探検に出かけ、晴れの日と雨の日の自然の様子の差異点を探しな	外	<p>・雨上がりの自然との関わりを楽しむ。</p> <p>・晴れの日との違いから、雨上が</p>					

がら、天候の様子に合わせて、身近な自然の様子が変化することに気付くことができるようになる。 p.48~49		りの自然の特徴を見付ける。	
たのしかったことをつたえよう			
・夏の自然と自分との関わりを振り返り、気付いたことや楽しかったことを友達と交流する活動を通して、夏の自然を生かして遊ぶ楽しさに気付くとともに、これからも身近な自然で楽しく遊ぼうとすることができるようになる。 p.52	1	①活動したグループごとに、言葉や動作などでお薦めの遊びを紹介する。	

単元名	いきものと なかよし			教科書のページ	上 p.57~65
配当時数	6 時間	活動時期	9 月	学習指導要領の内容	(7)
単元の目標	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に关心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、動物への親しみをもち、適切な世話をし、大切にしようとすることができるようとする。				
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物の育つ場所、変化や成長の様子に关心をもって働きかけている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようと/or している。		
目標	時数	学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動		
むしを さがそう					
・校庭の草むらなどで虫を探し、それらの特徴や育つ場所に気付くとともに、これまでの経験から世話の仕方を想像して世話の仕方を決め、教室で飼育しようとすることができるようする。 p.58~59	3	①校庭に出かけて虫を探したり、観察したりした後、教室に戻つて虫を捕まえる計画を立てる。 ②虫を探したり捕まえたりする。 ③捕まえた虫を友達と見せ合い、捕まえた場所や捕まえ方、虫の様子などを記録カードにかき、今後の育て方について話し合う。			
むしと なかよくなろう					
・虫の餌やりなどをしながら、虫の様子を観察し、虫に合わせた世話をする中で、虫が変化していることや、生命をもっていることに気付き、これからも生き物を大切にしていこうとすることができるようする。 p.60~61	3	①より適切な虫の飼い方を調べ、飼育環境を整える。 常時活動 朝の時間や休み時間などを使って、餌の用意をしたり、すみかを整えたりして、虫の世話をする。 ②気付いたことを記録カードにかき、友達と伝え合う。 ③虫をこれからどうするのか話し合い、元いた場所（捕まえた場所）に帰す。			
みんなで どうぶつを かおう					
・小動物の立場に立って世話の仕方を決めながら、継続的に飼育をし、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみをもち、大切にしようとすることができるようする。 p.64~65	外	・各学校の実態に応じて、一定期間、飼育環境を整えて動物を飼育し、観察する。			

単元名	たのしい あき いっぱい			教科書のページ	上 p.66~82	
配当時数	21 時間 (2 時間)	活動時期	9~11 月	学習指導要領の内容	(5) (6)	
単元の目標	秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくりたり、身近な自然の違いや特徴を見付けたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとすることができるようとする。					
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
単元の評価規準	秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付いていく。		秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してつくりたりしている。		秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。	
目標	時数	学習活動		学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動		
こうついで あきを さがそう	<ul style="list-style-type: none"> 校庭に出かけ、幼児期や日常の経験を思い起こして、秋の自然の特徴を探し、色や形、においなど、秋の校庭の自然の様子と、夏の校庭の自然の様子との違いに気付くことができるようとする。 <p>p.68~69</p>		<p>①~②校庭で、初秋の草花や樹木、虫などの動植物を観察したり、木の実などを使ってその場で友達と簡単な遊びをしたりする。</p> <p>③夏の頃の様子と比べて、変わっているところを話し合い、記録カードにかく。</p>			
こうえんで あきを さがそう	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然の様子を観察したり、自然物を利用して遊んだりしながら、秋の自然の変化を予想して、夏の自然との違いを探し、身近な自然の様子が、夏から秋になって変化していることに気付くことができるようとする。 <p>p.70~71</p>		<p>①~②公園で秋を探すことについて話し合い、ルールやマナーを守りながら公園に行き、遊んだり自然を観察したりする。</p> <p>③教室に戻ってきて、公園での活動で楽しかったことや気付いたことについて話し合い、記録カードにかく。</p>			
はっぱや みで あそぼう	<ul style="list-style-type: none"> 秋の自然と関わりたいという思いをもち、どんな遊びになりそうかを想像しながら、遊びに使う自然物を選び出し、試行錯誤しながら秋の自然を生かした遊びを楽しむことができるようとする。 <p>p.72~73</p>		<p>①~②秋の自然の中で遊ぶ活動について話し合い、秋の自然の中で遊んだり、葉や木の実などの自然物を使った遊びを工夫したり、簡単なおもちゃをつくりたりする。</p> <p>③秋の自然の中での遊びを振り返り、気付いたことを話し合い、記録カードにかく。</p>			
あきの ことを つたえよう						

<p>・秋の自然と関わったことを振り返り、夏の遊びと秋の遊びを比べ、季節によって生活の様子が変わることに気付き、季節を生かして遊ぶことに楽しめを感じて、これからも季節の遊びを楽しもうとすることができるようになる。</p> <p style="text-align: right;">p.74</p>	1	<p>①秋の自然の中で活動したこと振り返り、友達と紹介し合う。</p>	
あきの おもちゃを つくろう			
<p>・集めたさまざまな自然物を試しながら比べて材料を選び、自分のおもちゃをつくる中で、いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気付き、試行錯誤して楽しいおもちゃを創り出そうとすることができるようになる。</p> <p style="text-align: right;">p.76～77</p>	7	<p>①秋のおもちゃをつくる活動について話し合い、校庭や公園などで集めた葉や木の実、身の回りから集めた材料を使って遊ぶ。</p> <p>②～⑤おもちゃや楽器を工夫してつくりながら遊び、自分がつくれたおもちゃや楽器を改良したり、つくるおもちゃを変えたりして楽しむ。</p> <p>⑥～⑦つくれたおもちゃで友達と一緒に遊びながら、もっと楽しく遊べるようにつくり方や遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむ。</p>	<p>③～④おもちゃや楽器を工夫してつくりながら遊び、自分がつくれたおもちゃや楽器を改良したり、つくるおもちゃを変えたりして楽しむ。【2時間】</p>
いっしょに あそぼう			
<p>・園児の気持ちを想像しながら、一緒に楽しめる遊びやおもちゃを工夫してつくり、自分が遊びを創り出したことでみんなが楽しく遊ぶことができるようにになったことに気付き、これからも遊びを創り出そうとすることができるようになる。</p> <p style="text-align: right;">p.78～79</p>	4	<p>①～②自分がつくれたおもちゃで園児と一緒に遊ぶために話し合い、準備をする。</p> <p>③自分がつくれたおもちゃで園児と一緒に遊びを楽しむ。</p> <p>④おもちゃをつくれたことや遊んだことを振り返り、記録カードにかく。</p>	<p>→感染症対策の観点から活動時期を変更することも考えられる。</p>

単元名	じぶんで できるよ			教科書のページ	上 p.83~91
配当時数	12 時間 (7 時間)	活動時期	11~12 月	学習指導要領の内容	(2)

単元の目標	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分でできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとすることができるようになる。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付いている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭における家の人のことや自分でできることなどを見付けている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
じぶんの いちにちを みつめよう			
・自分の生活と比較しながら、家の人の生活を見たり聞いたりし、自分の生活リズムを整えるとともに、自分の生活が家の人に支えられていることに気付き、健康に気を付けて生活しようとすることができるようになる。 p.84~85	3	<p>①～②家庭で自分が毎日していることを調べ、調べたことを基に、家庭での自分の1日の生活を振り返る。</p> <p>③ワークシートを基に、気付いたことについて話し合う。</p>	<p>①～②家庭で自分が毎日していることを調べ、教科書を参考にワークシートにかく。【2時間】</p>

じぶnde できる ことを しよう	6	<p>①家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを振り返る。</p> <p>家庭 家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを調べる。</p> <p>②調べてきたことを伝え合う。</p> <p>③家庭で自分ができることを考え、実施する計画を立てる。</p> <p>家庭 自分でできることに取り組む。</p> <p>④～⑤自分が取り組んだことを発表し合い、さらにできることを考え、記録カードにかく。</p> <p>家庭自分が考えたことに取り組む。</p> <p>⑥家庭で取り組んだことを振り返</p>	<p>①家の人が毎日していることを調べ、記録カードにかく。【1時間】</p> <p>③自分が家庭でできることを考え、実施する計画を立てる。【1時間】</p> <p>⑤さらにできることを考え、記録カードにかく。【1時間】</p>
-------------------	---	---	---

			り、よかつたことや気付いたことを記録カードにまとめ、伝え合う。	
これからも つづけよう				
・活動前の自分と今の自分を比較して、できるようになつたことを見付け、自分自身が家庭を構成している大切な一人であることに気付き、これからも、家庭での自分の役割を果たしていこうとすることができるようとする。 p.88	3	<p>①さらに続けていきたいこと、挑戦したいことを考え、記録カードにかく。</p> <p>家庭・常時活動 家庭や学校で、自分が続けたいことや挑戦したいことに取り組む（1週間程度）。</p> <p>②自分が続けていることを、グループの友達と伝え合う。</p> <p>③[期間において]自分が家庭や学校で続けていることや、続けてよかつたことなどを発表し合う。</p>	<p>①前時で伝え合ったことを基に、自分でもやってみたいこと、続けたいことについて考え、記録カードにかく。【1時間】</p>	
むかしから つたわる あそびを たのしもう				
・地域の人に、昔から伝わる遊びを教わったり、一緒に遊んだりする中で、地域の人と関わったり触れ合ったりすることのよさに気付き、進んで触れ合い、交流しようとすることができるようとする。 p.90~91	外	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人を招待したり、訪ねたりして、昔から伝わる遊びを教わり、一緒に遊ぶ。 ・楽しかったことや気付いたことを振り返り、遊びを教えてくれた人にお礼の気持ちを伝える。 	<p>→実施に当たっては、感染症対策の観点からの配慮を行うようにする。</p>	

単元名	ふゆを たのしもう			教科書のページ	上 p.92~104
配当時数	9 時間	活動時期	1月	学習指導要領の内容	(4) (5) (6)

単元の目標	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、遊びの面白さや自然の不思議さ、身近な自然の様子、季節によって生活の様子が変わることに気付くとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとすることができるようになる。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付いている。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりしている。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、公園など身の回りの公共施設を大切に利用したりして、自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	時数	学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
こうついで ふゆを さがそう			
・季節の自然と関わりたいという思いをもち、これまでに関わった校庭の様子と比較して、校庭の自然の様子が冬になって変化していることに気付き、冬の特徴を生かして楽しく遊ぼうとすることができるようにする。 p.94~95	2	①～②校庭で、冬の動植物を観察したり、霜柱や氷など冬特有の自然を探したり、友達と遊んだりして、気付いたことを記録カードにかく。	

ふゆの こうえんに いこう	3	①～②冬の公園での活動について話し合い、ルールやマナーを守りながら公園に行って、遊んだり自然を観察したり公園にいる人と関わったりする。 ③教室に戻ってきて、公園での活動を通して気付いたことについて話し合い、記録カードにかく。	→感染症対策の観点から活動時期を変更することが考えられる。
---------------	---	---	-------------------------------

そこで あそぼう	3	①風を利用して、友達と一緒に簡単な遊びを楽しむ。 ②風を利用したおもちゃをつくり、風を利用して友達と一緒に遊びを楽しむ。 ③実際に遊んで気付いたことや友達の工夫を参考にして、自分のおもちゃをさらに工夫して、気付いたことを記録カードにか	
----------	---	---	--

		く。	
ゆきや こおりで あそぼう			
・雪や氷を使って、友達と一緒にさまざまな遊びに取り組み、雪や氷を生かして遊びを創り出す面白さに気付き、季節の自然を生かして自分の生活を楽しくしようとすることができるようとする。 p.102~103	外	・体全体を使って雪や氷に触れたり、雪や氷を使った遊びを工夫したりして、友達と遊びを楽しむ。 ・友達と、自分のお薦めの遊びを教え合う。	
ふゆの ことを つたえよう			
・冬の活動の様子と、夏や秋の活動の様子を季節の流れに沿って並べて話し合い、季節に合わせて自然の様子や生活の様子が変化していくことに気付き、これからも季節に合わせて自分の生活を楽しくしていこうとすることができるようとする。 p.104	1	①冬の自然を観察したり遊んだりしたことなどを振り返り、友達と交流する。	

単元名	もうすぐ2ねんせい			教科書のページ	上 p.105~114
配当時数	18時間 (4時間)	活動時期	2~3月	学習指導要領の内容	(8)(9)
単元の目標	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようとすることができるようになる。				

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさや、自分が大きくなつたこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これから成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
あたらしい1ねんせいを しょうたいしよう			
・来年度入学してくる新しい1年生に喜んでもらえるように、新しい1年生の気持ちを想像しながら関わり方を決め、学校のことを分かりやすく伝える中で、新しい1年生と関わることのよさに気付くことができるようになる。 p.106~107	7	<p>①入学前や入学直後の気持ちを振り返り、新しい1年生と一緒に何をしたいか、何を教えていかについて話し合う。</p> <p>②~④新しい1年生を迎える準備をする。</p> <p>⑤会場を整え、全体の会を想定して準備・リハーサルをする。</p> <p>⑥~⑦新しい1年生を招待して、一緒に活動する。</p>	<p>→感染症対策の観点から活動時期を変更することが考えられる。</p> <p>③新しい1年生を迎るために、案内する場所を決めたり、紹介したい物を用意したりするなどの準備をする。【1時間】</p>

・自分と新しい1年生との関わりを思い起こして、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付き、これからも新しい1年生と関わっていこうとすることができるようにする。 p.108~109	2	<p>①新しい1年生と関わって感じたことや気付いたことを話し合う。</p> <p>②一緒に活動した幼稚園・保育所等の園児から送ってきた手紙を読み、招待した活動を通して、自分たちができるようになったことを振り返る。</p>	
---	---	--	--

・入学した頃の自分と今の自分を比較して、自分のできるようになったことを探したり、実際にやってみたりする中で、友達と仲良く遊べるようになったことなど、自分の内面的な成長に気付くこと	3	<p>①写真や動画などの手がかりをもとに、1年間の出来事をみんなで振り返る。</p> <p>②これまでかきためてきた記録カードや作品を整理してまとめ、1年間の成長を振り返る。</p> <p>③前時にまとめたものを、グルー</p>	<p>①写真や動画などの手がかりを基に、1年間の出来事を振り返る。【1時間】</p>
---	---	--	--

ができるないようにする。 p.110~111		普や全体で紹介し合い、1年間の成長を振り返る。	
ありがとう わたしたちの きょうしつ			
・自分たちの1年間の生活を作品にまとめ、自分の成長と周囲の人々の存在を関連付け、自分の成長は周囲の人々に支えられていることに気付き、2年生への願いをもつて、意欲的に生活しようとすることができるようになる。 p.112~113	6	<p>①来年度入学してくる1年生のために、自分たちにできることを話し合う。</p> <p>②～⑤新しい1年生のために教室の準備をする。</p> <p>⑥新しい1年生のために準備した教室内を見て、改めて1年間のことを振り返り、2年生になって取り組んでみたいことなどについて話し合う。</p>	<p>③～④新しい1年生のために教室に飾る掲示物の準備を分担して行う。【2時間】</p>